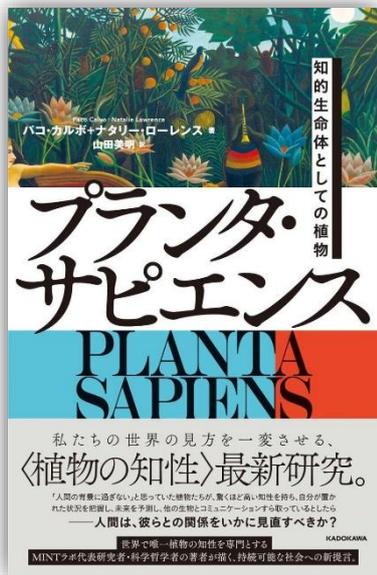
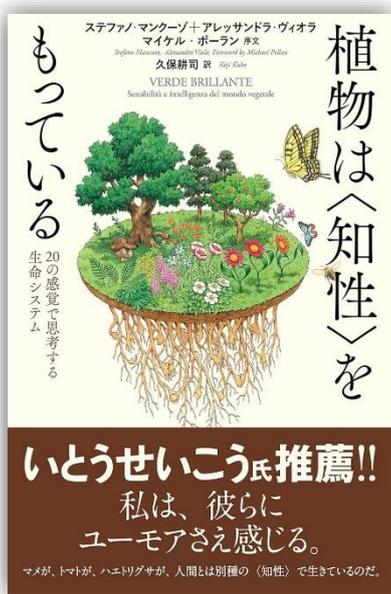


# ナルナル的菌活書評

植物は〈知性〉をもっている

20の感覚で思考する生命システム 他2冊



植物は、動物から見たら静的でおとなしく見えますね。動かないで、静的な存在であると思いついでいた植物ですが、実は、多彩な生存戦略を持っている事があきらかになりました。一番古い本が、2015年の出版です。内容的には10年前の発見や知見が書かれています。新しいものは、2023年の出版ですが、ネットで目次を見る限り共生菌の話題は少ないようです。内容が似通っているので、一緒にご紹介する事にしました。菌類との関係を知りたい方にはものたりない感じのする本たちかもしれませんが、植物の不思議や身体能力を知りたい方には必見です。菌類との共生関係が知られる以前の植物に対する知識を知る上では貴重な資料です。

書名	著者	発売日	出版社	価格
植物は〈知性〉をもっている 20の感覚で思考する生命システム	ステファノ・マンクーツ, アレッサンドラ・ヴィオラ, マイケル・ポーラン その他, 翻訳 久保 耕司	2015/11/20	NHK 出版	¥1,980
植物は〈未来〉を知っている—9つの能力から芽生えるテクノロジー革命	ステファノ・マンクーツ 翻訳 久保 耕司	2018/3/24	NHK 出版	¥2,200
プラント・サピエンス 知的生命体としての植物	パコ・カルボ, ナタリー・ローレンス, 翻訳 山田 美明	2023/3/29	KADOKAWA	¥2,860

